神奈川県の信用金庫、中小企業のSDGs取り組み支援に力

#SDGs #地域金融 #神奈川

2022/6/15 19:23 [有料会員限定]

かながわ信用金庫はSDGs関連ローンの取り扱いに力を入れている（15日、横浜市の同信金横浜営業部）

神奈川県内の信用金庫がSDGs（持続可能な開発目標）の達成に取り組む中小企業の支援に力を入れている。SDGsへの取り組みを後押しする融資商品を提供するほか、SDGsに対応した事業計画書の作成を支援したり、目標の達成状況を診断したりと、企業に寄り添って課題解決に導いている。

かながわ信用金庫（横須賀市）が取り扱ったSDGs関連ローンは2021年10月から22年3月までで計247件になった。損害保険ジャパンと連携し、融資する際に同社が提供する診断ツールで事業者のSDGsへの取り組み状況を確認。信金職員がサポートしながら、具体的なSDGsの達成に向けた取り組みを事業計画に盛り込んでいる。

平塚信用金庫（神奈川県平塚市）はSDGsやESG（環境・社会・企業統治）のサポートローンを22年4月に始めた。2000万円を上限に融資するほか、環境対策や社会貢献などの取り組みを記載した「SDGs宣言書」の策定も支援している。

川崎信用金庫（川崎市）は脱炭素などに取り組む事業者向けに「かわしんカーボンゼロ・アシスト2050」を提供している。融資期間は最長10年で、融資の上限は2億8000万円。省エネ診断や再生可能エネルギー由来の電力を契約するなど、環境に配慮したいずれかの取り組みを融資の条件にしている。